発行日：2024年4月3日

# エコアクション21
# 環境経営レポート

## 2023年度版
## （1～12月）

〈第19版〉

サステン株式会社
森町事業所

# 目　次


表紙 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

目次 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

会社紹介 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3･4

Ⅰ．組織の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5･6

Ⅱ．事業活動の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7･8

Ⅲ．環境経営方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

Ⅳ．環境経営目標 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10･11

Ⅴ．2023年活動実績 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12～15

Ⅵ．2024年活動目標 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16･17

Ⅶ．環境関連法規等の遵守状況の確認 ・・・・・・・・・・・・ 18

Ⅷ．代表者による全体評価と反省 ・・・・・・・・・・・・・・ 19･20

# 会　社　紹　介

私たちサステン株式会社は、静岡県周智郡森町の**本社・森町事業所**、袋井市の**袋井事業所**と**袋井インター営業所**、熊本県八代市の**八代事業所**、の４つの拠点から成り立っています。
社員が気軽に利用できる施設として、自然の恵みを肌で感じることが出来る**ログハウス【ELDORADO in森】**を保有しています。
～グループ企業～
1978年にオートバイ部品組立工場として独立したサステン工業株式会社があります。

## 本社・森町事業所

静岡県周智郡森町森1408
・総務系部門
静岡県周智郡森町森1418-1
・木製パレットを中心に、包装資材・物流パレットの取り扱い

## 袋井事業所

静岡県袋井市新池700(ヤマハ発動機株式会社内)
・ヤマハ発動機製船外機の梱包、パーツ部品の包装

## 袋井インター営業所

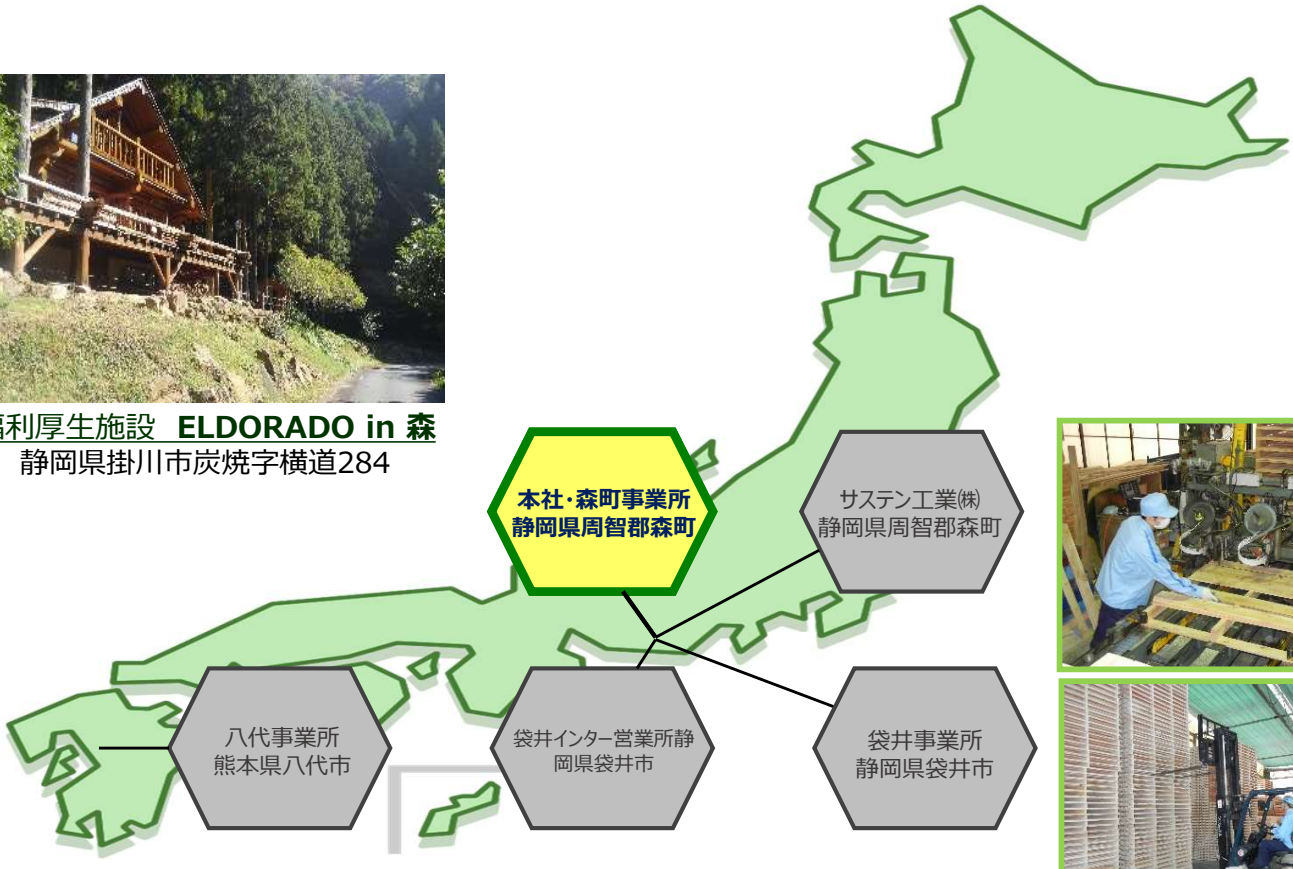
静岡県袋井市川井1338-1
・ヤマハ発動機製船外機パーツ部品の包装

## 八代事業所

熊本県八代市新港町4-8(ヤマハ熊本プロダクツ株式会社内)
・ヤマハ発動機製船外機の梱包、パーツ部品の包装



福利厚生施設　**ELDORADO in 森**
静岡県掛川市炭焼字横道284



# サステン株式会社のあゆみ

| | |
|---|---|
| 1913年(大正2年) | 友田木材店として静岡県周智郡森町吉川に製材工場を創立し、主に建築材の生産を開始する |
| 1944年(昭和19年) | 戦時下において設備資材の供出命令により一時工場閉鎖 |
| 1947年(昭和22年) | 新たに社名を天原木材株式会社と改め生産を再開する |
| 1963年(昭和38年) | 生産規模および流通の拡大に伴い当地方において、いちはやく現在地に製材工場を建設すると共に、社名をサステン木材株式会社と改め、関東地方を主力に広く一般建築材の供給に努める |
| 1970年(昭和45年) | 新規に梱包材およびパレットなどの物流資材分野に進出し、工場内に組立ラインを設置し、原木から最終製品までの一環体制を確立する |
| 1971年(昭和46年) | 主に製品の規格化および品質の適正化に関し、農林水産省よりJSA認定工場として指定を受ける |
| 1972年(昭和47年) | 三信工業株式会社(現ヤマハ発動機株式会社)からヤマハ船外機が初めてアメリカ市場に輸出されるのを契機にサステン梱包株式会社を創立し包装業界に進出 |
| 1979年(昭和54年) | ヤマハ発動機株式会社関連商品の専門店(YSP袋井)として、静岡県袋井市に株式会社エルドラードコーポレーションを設立し、オートバイの販売を開始 |
| 1990年(平成2年) | 業界の将来を展望し、経営強化を図るべくサステン木材株式会社とサステン梱包株式会社を合併、社名をサステン株式会社とし本社事業所、浜松事業所を開設する |
| 2000年(平成12年) | ヤマハ熊本プロダクツ株式会社の船外機生産開始に伴い、八代事業所を開設し梱包作業を請負う |
| 2006年(平成18年) | エコアクション21認証取得【サステン株式会社 本社事業所】 |
| 2008年(平成20年) | ヤマハマリン株式会社(現ヤマハ発動機株式会社)の船外機組立工程の袋井工場移管に伴い、袋井事業所を開設する |
| 2011年(平成23年) | 組織強化を図るべく、浜松事業所を閉鎖し袋井事業所に吸収する |
| 2013年(平成25年) | サステン株式会社　創立100年を迎える<br>サステン株式会社を存続会社とし株式会社エルドラードコーポレーションを吸収合併<br>サステン株式会社モーターサイクル事業部(YSP袋井)となる |
| 2015年(平成27年) | 袋井インター営業所　開設 |
| 2017年(平成29年) | サステン株式会社モーターサイクル事業部(YSP袋井)を、有限会社エルドラード浜松へ譲渡 |
| 2019年(令和元年) | 本社事業所を新築移転 |
| 2020年(令和2年) | 本社事業所を森町事業所に改称 |

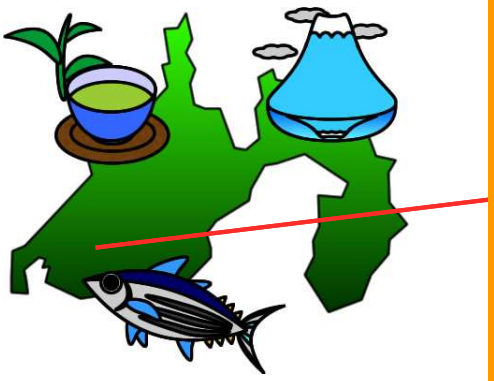
仕事の仲間の絆と
地域社会に育てられた１００年企業。
絆と感謝を忘れず誠実に
社会の要望の変化に対応し
貢献していきます。

代表取締役社長　友田 裕人

# Ⅰ．組織の概要

## 事　業　概　要

- ◆ 事業所名　　:サステン株式会社　森町事業所
- ◆ 代表者名　　:代表取締役　友田裕人
- ◆ 環境管理経営者　:代表取締役　友田裕人
- ◆ 所在地　　:〒437-0215
  静岡県周智郡森町森1418-1
- ◆ 連絡先　　:TEL　0538(85)3388
  FAX　0538(85)3389
- ◆ ホームページ　:https://www.sasten.co.jp



## 事業内容及び事業規模(2023年1月～12月)

- ◆ 認証･登録範囲　:梱包材(木材･ダンボール)の加工･組立
- ◆ 資本金　:2,600万円
- ◆ 年間売上高　:2,359百万(うち森町事業所375百万)
- ◆ 社員数　:80名
- ◆ 敷地面積　:1,140.0㎡
- ◆ 建設床面積　:974.8㎡

# エコアクション21への取り組みの歴史

| | | |
|---|---|---|
| 2005年 | 9月 | エコアクション21取得活動開始 |
| | 12月 | 環境方針　制定 |
| 2006年 | 4月 | マニュアル制定 |
| | 4月 | 第１回改定 |
| | 6月 | 第２回改定 |
| | 11月 | エコアクション21　認証取得 |
| | | 【認証・取得番号　0001145】 |
| 2009年 | 8月 | 低公害車【ダイハツ・ミライース】 |
| | | を導入し、保有台数を見直した |
| 2009年 | ９月 | バッテリー式フォークリフト導入 |
| 2011年 | 9月 | PCB廃棄物のうち、コンデンサーを処理・搬出 |
| 2012年 | 10月 | 環境方針　改定 |
| 2016年 | 6月 | PCB廃棄物のうち、トランスを処理・搬出 |
| 2018年 | 7月 | 環境方針、マニュアル改定 |
| 2019年 | ５月 | 新工場稼働に伴い環境負荷低減機器導入 |
| | | 【チラー(水循環装置)、LED】 |
| 2021年 | 11月 | 本社1F通路、社長室、事業推進室の電灯をLEDに更新 |
| 2023年 | 3月 | 森町事業所太陽光発電導入 |

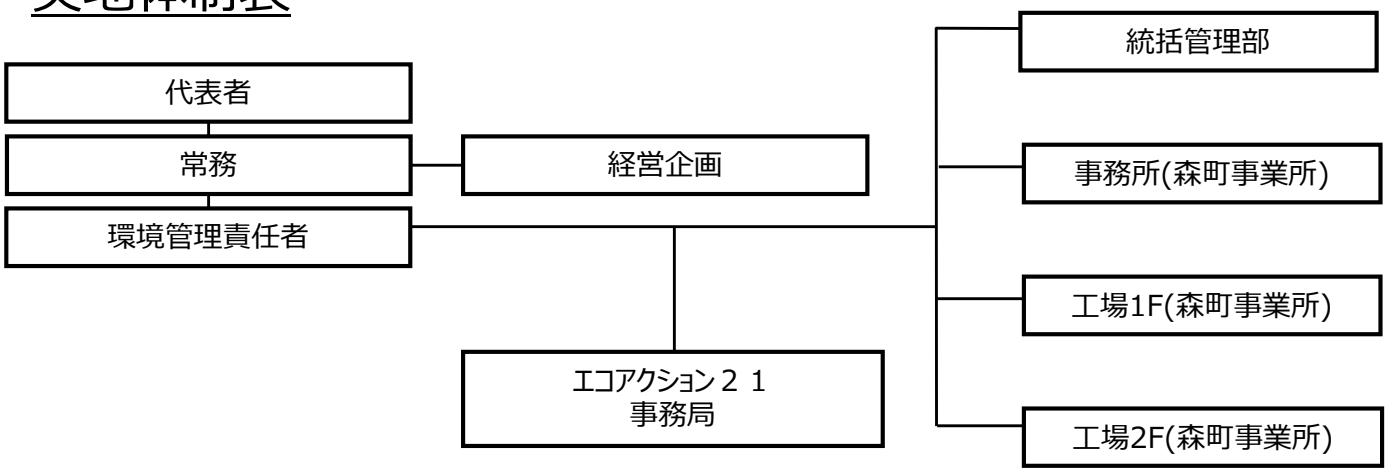
# Ⅱ．実施体制

1）代表者は、環境経営責任者及び環境管理責任者を指名し、エコアクション21の運用における責任と権限を与え、所属、役割等に係りなく保証する。

2）環境経営責任者は、エコアクション21の実施及び管理に必要不可欠な資源を用意する。資源には、人的資源及び専門的な技能・技術並びに資金を含む。

3）環境推進委員会は、森町事業所及び統括管理室、業務推進室で構成し、エコアクション21活動全般について検討する。

## 実地体制表




| | |
|---|---|
| **代表者** | ・環境経営に関する責任統括<br>・環境経営システムの実施及び管理に必要な陰々、設備、費用、時間等の用意<br>・環境管理責任者の任命<br>・環境経営方針・環境経営目標の策定<br>・環境目標の設定の承認<br>・代表者による全体の評価と見直しの実施<br>・環境経営レポートの承認 |
| **環境管理責任者** | ・環境経営システムの構築、実施、管理<br>・環境関連法規制等の登録及び管理<br>・環境活動実施計画の承認<br>・教育訓練の実施<br>・マネジメントレビューの実施、取組結果を代表者へ報告<br>・環境経営レポートの確認 |
| **エコアクション21<br>事務局** | ・環境管理責任者の補佐、EA21推進会議に事務局<br>・環境への負荷の自己チェック及び、環境への取組の自己チェックの実施<br>・環境活動の実績集計<br>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口<br>・各種記録の保管<br>・環境経営レポートの作成 |
| **全従業員** | ・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚<br>・自主的・積極的に環境活動へ参加 |

## 各事業所の環境活動

袋井事業所は、ヤマハ発動機株式会社殿の社内請負会社として事業を展開しています。
環境活動においては、ヤマハ発動機株式会社殿のメンバーの一員として活動を共にしています。

熊本県八代市にある八代事業所につきましても、ヤマハ熊本プロダクツ株式会社殿の社内請負会社として事業を展開し、環境活動組織に属し共に活動を推進しています。

| | |
|---|---|
| 本社・森町事業所 | エコアクション21、2006年11月6日認証登録以後、環境活動を推進しています。 |
| 袋井事業所<br>袋井インター営業所 | ヤマハ発動機株式会社袋井南工場にて環境マネジメント組織に属し、環境活動を推進しています。 |
| 八代事業所 | ヤマハ熊本プロダクツ株式会社に、生産3課環境環境マネジメント組織に属し、環境活動を推進しています。 |

# Ⅲ．環境経営方針

## 環境経営方針

地球環境問題を人類共通の重要課題と認識し企業活動の全ての分野で環境負荷の低減を図り持続可能な社会へ貢献します。

## 環境経営目標

カーボンニュートラルの実現はヤマハ発動機様と同じ2035年を目標とし計画を立案、率先実行達成することで企業の存続と企業価値を高めます。

## 行　動　指　針

わたしたちは常に環境目標を定め、次に掲げる環境負荷低減活動に取り組み『より良い人と自然との調和』を実現するための環境経営をすすめていく

1 『二酸化炭素排出削減』に努め、地球温暖化防止を推進します。

1 『産業廃棄物削減』に努め、省資源リサイクル化を推進します。

1 『水、電力、油の削減』に努め、省エネルギー化を推進します。

1 『製品及びサービスの環境配慮とグリーン購買』に努めます。

1 『環境関連法令の遵守』に努めコンプライアンスを徹底します。

1 『化学物質の適正な管理』に努めます。

2018年7月1日 全面改定
2023年4月1日 一部改訂
サステン株式会社

代表取締役社長　友田 裕人

# Ⅳ．環境経営目標

## 2023年　目標と活動計画

### 活　動　目　標

2023年～2025年の目標値は原単位で2021～2022年の実績平均値を維持することに努力／活動する事としています。

| 取組項目 | | 単位 | 2021～2022年<br>実績平均値＝<br>2023～25年目標値 | 2023年目標値 |
|---|---|---|---|---|
| CO2排出量 | 購入電力 | kg-CO2 | 47,625 | 47,625 |
| | | kwh | 113,824 | 113,824 |
| | | Kwh/売上高<br>(百万円) | 313 | 313 |
| | 化石燃料 | kg-CO2 | 4,188 | 4,188 |
| | | L | 1,805 | 1,805 |
| | | L/売上高<br>(百万円) | 4.95 | 4.95 |
| 廃棄物排出量 | 一般廃棄物 | kg | 47.4 | 47.4 |
| | | kg/売上高<br>(百万円) | 0.13 | 0.13 |
| | 産業廃棄物 | kg | 703 | 703 |
| | | kg/売上高<br>(百万円) | 1.93 | 1.98 |
| 総排水量 | 総排水量 | ㎥ | 177 | 177 |
| | | ㎥/売上高<br>(百万円) | 0.48 | 0.48 |
| グリーン購入 | | グリーン購入適合商品検討<br>・事務用品のグリーン化推進<br>・木材の間伐材使用の推進 | | |
| 化学物質管理 | | 使用化学物質の内容を把握<br>・SDSを保管<br>・PRTR法対象物質の把握 | | |
| 製品サービス | | リサイクルしやすい製品の<br>・開発と可能性の検討 | | |

# 2023年　目標と活動計画

## 活　動　計　画

**★二酸化炭素排出量削減**

購入電力の削減…休み時間の消灯
コンプレッサー昼休みの停止
パソコン電源のこまめOFF
エアコン設定厳守

化石燃料の削減…アイドリングストップ
給油時の空気圧チェック
降車時エンジン停止の徹底
車両整備の徹底

**★廃棄物排出量の削減**

一般廃棄物の削減…裏紙使用の徹底
紙の資料の削減
印刷ミスの削減
廃棄物分別の徹底

産業廃棄物の削減…リサイクル率の検証と向上
分別廃棄の徹底
原材料の梱包仕様改善を提案

**★総排水量の削減**

節水

**★グリーン購入**

事務用品のグリーン化推進 ／ 木材の間伐材使用の推進

**★環境への負荷の自己チェック**

採取データの精度アップ ／ 担当割当による計量・測定

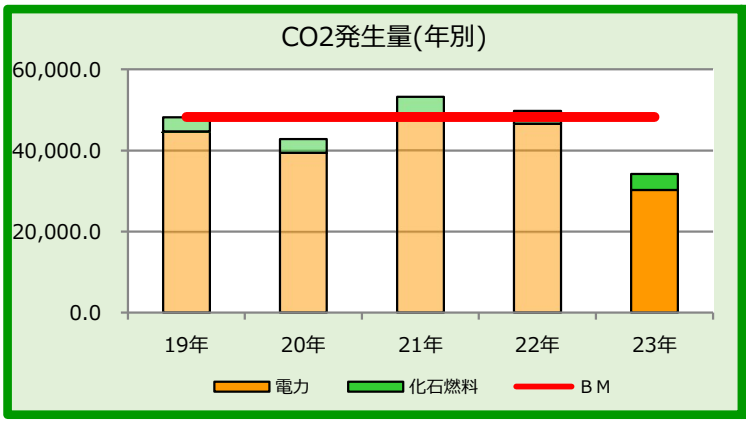
**★法規制に対する対処**

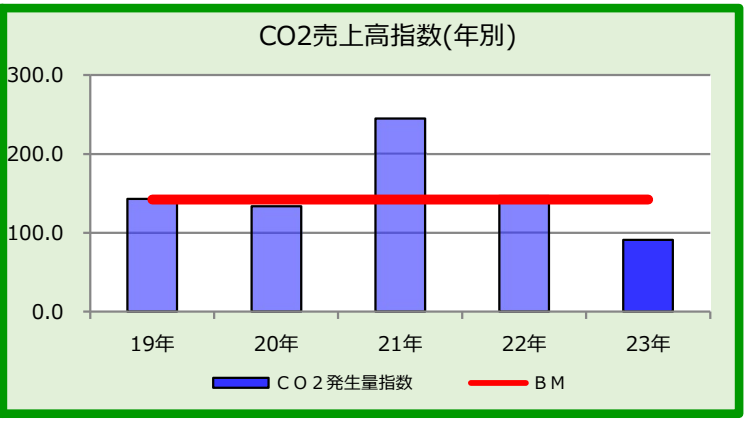
廃棄物管理表届出 ／ 処理業者のチェック ／ 騒音、振動チェック

# Ⅵ．２０２３年活動結果

## 各項目の削減結果と判定

| 取組項目 | | 単位 | 2023年目標 | 2023年実績 | 結果(増減) | 判定 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| CO2排出量 | 購入電力 | kg-CO2 | 47,625 | 30,272 | -17,353 | ○ |
| | | kwh | 113,824 | 67,422 | -46,402 | ○ |
| | | Kwh/売上高(百万円) | 313 | 180 | -133 | ○ |
| | 化石燃料 | kg-CO2 | 4,188 | 3,922 | -266 | ○ |
| | | L | 1,805 | 1,689 | -116 | ○ |
| | | L/売上高(百万円) | 4.95 | 4.50 | -0.45 | ○ |
| 事務所廃棄物排出量 | 一般廃棄物排出量 | kg | 47.4 | 65.2 | +17.8 | × |
| | | kg/売上高(百万円) | 0.13 | 0.17 | +0.04 | × |
| 産廃排出量 | 産業廃棄物排出量 | kg | 703 | 516 (うち再資源化量345kg) | -187 | ○ |
| | | kg/売上高(百万円) | 1.93 | 1.38 | -0.55 | ○ |
| 総排水量 | 総排水量 | ㎥ | 177 | 144 | -33 | ○ |
| | | ㎥/売上高(百万円) | 0.48 | 0.38 | -0.10 | ○ |
| グリーン購入 | グリーン購入適合品商品検討<br>・事務用品のグリーン化推進<br>・木材の間伐材使用の推進 | | 現状維持 | 活動維持 | | ○ |
| 化学物質管理 | SDSの保管<br>PRTR法対象物質の把握 | | 現状維持 | 活動維持 | | ○ |
| 製品サービス | リサイクルしやすい製品の開発の可能性検討 | | 現状維持 | 活動維持 | | ○ |




※ 電力排出係数『0.449Kg-CO2/kwh』を使用 ： 中部電力ミライズ㈱(2023年1月23日公表)を使用しています。
※化石燃料（ガソリン）『0.0671Kg-CO2／MJ x 34.6MJ/L=2.322kg-CO2/L』を使用しています。

# 2023年の活動結果内容

## 各項目の内容《原単位上での評価となります》

### 購入電力削減

購入電力は2022年同様に船外機の需要が高く、生産負荷が高水準でしたが、太陽光パネルの効果により購入量がBMに対して半分で収まりました。売上高は過去最高の2022年と同水準で原単位は目標達成となりました。

### 化石燃料削減

ガソリン使用者は軽自動車2台、普通自動車1台の保有です。
原単位上対BM10%削減できました。

### 廃棄物排出量削減

産業廃棄物は、スチールの生産減少及び在庫調整により総量は大きく減少した結果、原単位上対BM30%削減できました。

### 水使用量削減

水は散水等減により使用量が大幅に減ったことにより対BM比19%削減しました。

### グリーン購入

パレットの主原料である木材の購入は、間伐材の割合が95%以上であり、来期以降においてもお客様へ間伐材使用製品の推奨に努め活動をしていきます。

### 化学物質の管理

今年度、PRTR法にて管理される薬品類は、社内での使用はありませんでした。

### 生物多様性への対応

幅広いテーマの中で、当社の事業に関係したインプット・アウトプット、社会貢献活動の中で
生物多様性に悪影響を与えている物／活動は特にありませんでした。

### 製品サービスについて

リサイクルしやすい製品の開発設計を常に意識、検討中ですが、製品耐久度とのバランス、
また、製品が顧客様の使用汎用性が高く、耐荷重性等の使用設定が難しくなっています。

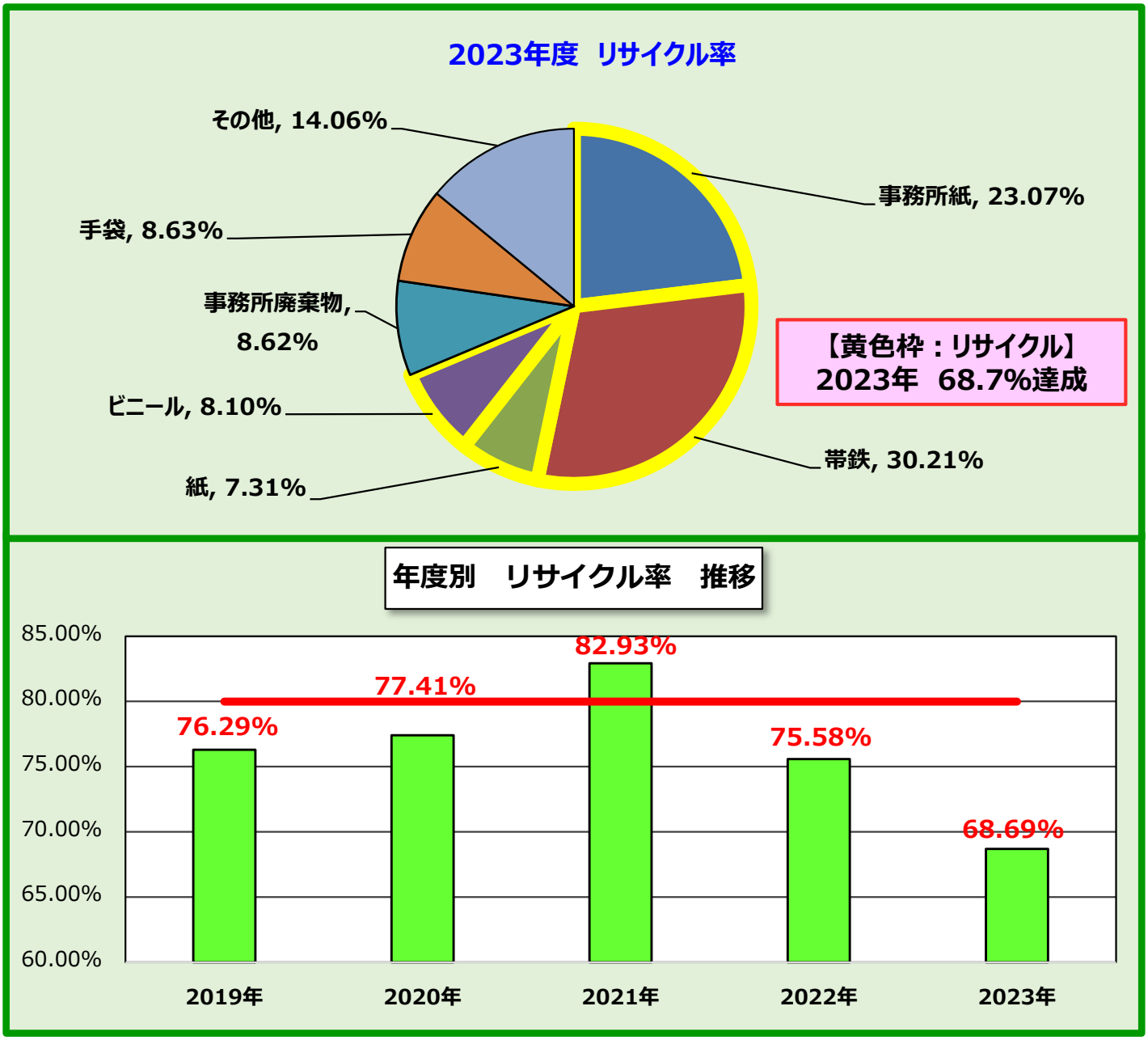
※ BMの2021～2022年の実績平均数値は、生産量が一定以上に確保され条件的に良好な環境下での達成値です。

# 過去３年間の環境目標及び実績
# （2021年～2023年）

| 取組項目 | | 単位 | 目標/実績 | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| CO2排出量 | 購入電力 | kg-CO2 | 目標 | 44,668.0 | 44,668.0 | 47,625.0 |
| | | | 実績 | 48,702.5 | 46,547.4 | 30,272.0 |
| | 化石燃料 | kg-CO2 | 目標 | 3,533.9 | 3,533.9 | 4,187.0 |
| | | | 実績 | 4,464.4 | 3,203.0 | 3,922.0 |
| 廃棄物排出量 | 一般廃棄物 | kg | 目標 | 38.6 | 38.6 | 47.4 |
| | | | 実績 | 44.2 | 50.5 | 65.2 |
| | 産業廃棄物 | kg | 目標 | 525.3 | 525.3 | 703.0 |
| | | | 実績 | 726.6<br>(うち再資源化量576) | 679.3<br>(うち再資源化量513) | 516.0<br>(うち再資源化量345) |
| 総排水量 | 総排水量 | ㎥ | 目標 | 219.9 | 219.9 | 177.0 |
| | | | 実績 | 174.0 | 180.0 | 144.0 |
| グリーン購入 | 適合品採用 | グリーン購入適合品商品検討<br>・事務用品のグリーン化推進<br>・木材の間伐材使用の推進 | | 活動維持 | 活動維持 | 活動維持 |
| 化学物質管理 | 購入化学品 | 使用化学物質の内容を把握<br>・SDSを保管<br>・PRTR法対象物質の把握 | | 活動維持 | 活動維持 | 活動維持 |
| 製品・サービス | | リサイクルしやすい製品の<br>・開発と可能性の検討 | | 活動維持 | 活動維持 | 活動維持 |

※2023年購入電力kg-CO2は排出計数を0.449へ変更して表示

# 【参考記載】2023年廃棄物累計リサイクル率




※リサイクル率につきましては、参考値として80%以上を目標としています。
※分類の『その他』は工場内の掃除で溜る砂、砂利、枯葉等の重量も含まれています。

当社はエコアクション21の一環として、購入原料の木材は
**95%が間伐材(北海道産)**を使用しております。

※間伐材とは
森林の成長過程で密集化する立木を間引く過程で発生する木材です。間伐は森林に対して、本数を調整するために行われ、森林の育成を保つための重要な作業です。
現在、日本の森林は手入れが行き届かず充分な機能を果たせていません。そこで適当な間隔で木を伐採することにより、林内には適度な光が入り活力ある健全な木が成長します。
間伐を怠ると、森林の健全性が損なわれ、機能が発揮されません。

# Ⅵ．２０２４年活動目標

## 活　動　目　標

中期3カ年計画(2023年～2025年)の目標値は原単位で2021～2022年の実績値の平均値を維持することに努力／活動する事としています。

| 取組項目 | | 単位 | 2024年目標値 |
|---|---|---|---|
| CO2排出量 | 購入電力 | kg-CO2 | 47,625 |
| | | kwh | 113,824 |
| | | Kwh/売上高(百万円) | 313 |
| | 化石燃料 | kg-CO2 | 4,187.6 |
| | | L | 1,805 |
| | | L/売上高(百万円) | 4.95 |
| 廃棄物排出量 | 一般廃棄物 | kg | 47.4 |
| | | kg/売上高(百万円) | 0.13 |
| | 産業廃棄物 | kg | 703 |
| | | kg/売上高(百万円) | 1.93 |
| 総排水量 | 総排水量 | ㎥ | 177 |
| | | ㎥/売上高(百万円) | 0.48 |
| グリーン購入 | | グリーン購入適合商品検討<br>・事務用品のグリーン化推進<br>・木材の間伐材使用の推進 | |
| 化学物質管理 | | 使用化学物質の内容を把握<br>・SDSを保管<br>・PRTR法対象物質の把握 | |
| 製品サービス | | リサイクルしやすい製品の<br>・開発と可能性の検討 | |

# 2024年　目標と活動計画

中期3カ年計画(2023年～2025年)の目標値は原単位で2021～2022年の実績平均値を維持することに努力／活動する事としています。

| 項目 | 具体的内容 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 二酸化炭素排出量削減 | 購入電力の削減 | | | | | | | | | | | | | |
| | 休み時間の消灯 | | | | | | | | | | | | | |
| | コンプレッサー昼休みの停止 | | | | | | | | | | | | | |
| | パソコン電源のこまめのOFF | | | | | | | | | | | | | |
| | エアコン設定厳守 | | | | | | | | | | | | | |
| | 化石燃料の削減 | | | | | | | | | | | | | |
| | アイドリングストップ | | | | | | | | | | | | | |
| | 給仕の空気圧チェック | | | | | | | | | | | | | |
| | 降車時エンジン停止の徹底 | | | | | | | | | | | | | |
| | 車両整備の徹底 | | | | | | | | | | | | | |
| 廃棄物排出量削減 | 一般廃棄物の削減 | | | | | | | | | | | | | |
| | 裏紙使用の徹底 | | | | | | | | | | | | | |
| | 紙の資料の削減 | | | | | | | | | | | | | |
| | 印刷ミスの削減 | | | | | | | | | | | | | |
| | 廃棄物分別の徹底 | | | | | | | | | | | | | |
| | 産業廃棄物の削減<br>(リサイクルによる削減) | | | | | | | | | | | | | |
| | リサイクル率の検証と向上 | | | | | | | | | | | | | |
| | 分別廃棄の徹底 | | | | | | | | | | | | | |
| | 現在料の梱包仕様改善を提案 | | | | | | | | | | | | | |
| グリーン購入 | 環境負荷対策商品の利用 | | | | | | | | | | | | | |
| | 事務用品のグリーン化推進 | | | | | | | | | | | | | |
| | 木材の間伐材使用の推進 | | | | | | | | | | | | | |
| 他 | 環境への負荷の自己チェック | | | | | | | | | | | | | |
| | 採取データの精度アップ | | | | | | | | | | | | | |
| | 担当割当による計量・測定 | | | | | | | | | | | | | |
| 法順守 | 法規制に対する対処 | | | | | | | | | | | | | |
| | ~~PCB保管届出~~ | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| | 廃棄物管理表届出 | | | | | | | | | | | | | |
| | 処理業者のチェック | | | | | | | | | | | | | |
| | 騒音、振動チェック | | | | | | | | | | | | | |
| 環境推進委員会開催 | | | | | | | | | | | | | | |

※PCBにつきましては、2016年6月に処分業者が引取り、最終処分済みとなっています。

# Ⅶ．環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社に適用される下記環境関連法規に関して、2023年1月から12月末日までに、近隣地域から苦情1件ありましたが即日対応し解決済み。その他の官公庁・顧客・従業員からの違反や訴訟等に対する問題の指摘・苦情はありませんでした。

環境関連法規取りまとめ／遵守評価記録

| 承認印 | | 作成日 | 2023年1月13日 |
|---|---|---|---|
| | 坂本 | 評価日 | 2024年1月22日 |
| | | 評価者 | 小川　裕貴 |

| 適用法令 | 規制値・基準値・要求内容等 | 該当する設備・項目 | 当社の遵守・管理項目 | 届出 | 資格 | 書類 | 関係資料 | 遵守評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 下水道法<br>（地下水規制対象地域外） | ・廃水の基準の遵守 | | 廃油等を放流しない | | | | | 油類の浮遊流出無〇 |
| 騒音規制法 | ・特定施設の届出<br>・昼間 55dB,夜間50ｄB 以下 | 空気圧縮機7.5Kw　1台<br>（静岡県条例3.75Kw） | 規制基準の遵守 | 〇 | | 〇 | 設備届出書 | 2019年11月20日申請済　〇 |
| 振動規制法 | ・特定施設の届出<br>・昼間 65dB,夜間55ｄB 以下 | 空気圧縮機7.5Kw　1台<br>（静岡県条例3.75Kw） | 規制基準の遵守 | 〇 | | 〇 | 設備届出書 | 2019年11月20日申請済　〇 |
| 廃棄物処理法 | ・事業活動に伴って生じた廃棄物は自らの責任で適正に処理する。<br>・静岡県廃棄物適正な処理に関する条例（第8条～第１１条） | 廃プラ・金属クズ・紙類<br>木材クズ・他 | マニュフェスト交付⇒管理<br>B2,D,E票の5年間保管<br>毎年6月末迄に前年度分の数量を知事(保険所)に届出<br>（産業廃棄物管理票交付等状況報告書…報告書）<br>処理委託業者の処理現場ﾁｪｯｸ<br>環境管理責任者の設置 | 〇<br>〇 | | 〇<br>〇<br>〇 | マニュフェスト<br>届出書保管<br>報告書 | 〇 |
| PCB廃棄物特別処理法 | ・保管場所を特定し施錠保管 | ・トランス　1台<br>（塩化処理…届出書） | 毎年6月末迄に前年度中の保管・処理状況を届出 | 〇 | 〇 | 〇 | 届出書保管 | 2016年6月15日処分済み |
| PRTR法 | ・該当化学物質の使用、保管規制 | ・該当する薬品不使用 | 使用化学品のSDSを管理 | | | 〇 | SDS | 〇 |
| 家電リサイクル法 | ・TV、エアコン、冷蔵庫の法にそった処理 | TV,エアコン,冷蔵庫等 | 廃棄時に法の遵守<br>（正規業者にて処理） | | | | | 〇 |
| 自動車リサイクル法 | ・廃車時の法にそった処理 | 軽自動車、ワゴン車 | 廃棄時に法の遵守<br>（正規業者にて処理） | | | | | 〇 |
| 消防法 | ・火災報知機の設置<br>・可搬ポンプの設置 | ・火災報知機<br>・火災報知機 | 点検の実施 | 〇 | | 〇 | | 〇 |
| グリーン購入法 | ・特定調達品目を出来る限り選択 | ・紙類・文具類・機器類<br>照明・作業服・手袋 | ・新規購入時には常に検討 | | | | | 〇 |
| フロン排出抑制法(第一種) | ・3ヶ月に1回以上の点検の実施 | ・コンプレッサー付帯設備のエアドライヤー設備<br>・空調機<br>・チラー(2020年10月7追加) | ・点検の実施 | | | 〇 | 報告書 | 〇 |

# Ⅷ．代表者による全体評価と反省

| マネジメントレビュー実施日 | 2024年3月21日(木) | 社　長 | 環境管理責任者 | 事　務　局 |
|---|---|---|---|---|
| | | 友田 | 本社事業所 '24.03.21 坂本 | 小川 |

代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果

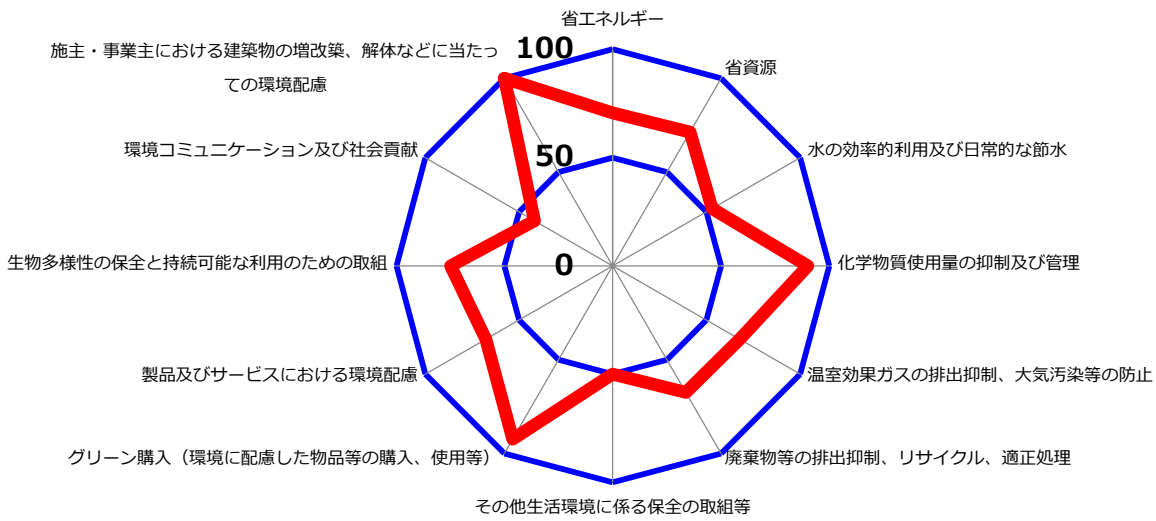
| 事務局　評価 | 代表者コメント（代表者への報告以後記入） |
|---|---|
| Ⅰ　環境目標（環境負荷低減目標）達成状況のレビュー結果について | |
| 事務局<br>購入電力は3月中旬から太陽光パネルを設置しました。昨年同様船外機の需要が高く、生産負荷が高水準でしたが太陽光パネルの効果により消費量が目標に対して半分で収まりました。売上高も過去最高の2022年と同水準でしたが一般廃棄物以外は全て原単位上目標達成となりました。化石燃料は今期よりプロボックスを追加してあります。<br>新中期3ヵ年計画のBMは過去２年間の実績を基に作成しています。 | 代表者<br>昨年同様高い売上高でも原単位で一般廃棄物以外目標を達成し評価できます。一般廃棄物も統括管理の職場２Ｓ改善のによるもので理由が理解できます。　また太陽光パネルの設置により中期計画通りにCO2の削減ができたことも評価できます。 |
| Ⅱ　環境活動計画（取組項目）の実施状況のレビュー結果について | |
| 事務局<br>今期の環境推進委員会は年4回の開催計画でしたがすべて開催することができました。開催にあたりカーボンニュートラルを社員一同共有化しました。<br>来期も年4回の開催日をスケジュール化してあります。<br>脱炭素、カーボンニュートラルという時代的な背景を踏まえ、今後も活動していきたいと思います。 | 代表者<br>昨年環境推進委員会を会社の年間ｽｹｼﾞｭｰﾙに計画を事前に落とし込み確実に4回実施すること。また取組自己ﾁｪｯｸｼｰﾄを3年に一度の見直し指示をコメントしました。その指示通りPDCAがまわり全て実施できたことは評価できます。またｶｰﾎﾞﾝﾆｭｰﾄﾗﾙについての共有化は今後も定期的に開催してください。 |
| Ⅲ　法規制遵守状況のレビュー結果について | |
| 事務局<br>2023年1月～12月の監査を実施します。<br>官公庁及び近隣からの苦情はありませんでした。<br>特定管理化学物質に関しては、現在ありません。 | 代表者<br>現在、対象物質はありませんが取扱商品や設備などの生産変化がある場合は、法規制のチェックを実施し維持管理して下さい。また近隣からの苦情が入った場合は内容把握から対応まで敏速に行ってください。 |
| Ⅳ　環境システムのレビュー結果について | |
| 事務局<br>チェック件数（合格件数）　確率（合格80%以上）<br>30　件　／　30　件　100%<br>問題は無いと判断します。 | 代表者<br>ｼｽﾃﾑの有効性を認めます。改善の必要性は、生じていません。その他：太陽光の設置が完了し皆さんの地道な活動が重要になります。計画している電子化による脱ﾍﾟｰﾊﾟｰや改善で作成する棚の素材そのものにもこだわる活動の推進実行に期待しています。合言葉：Sasten　for　the sustainable　earth！ |

代表者による次年度への指示

| | | |
|---|---|---|
| Ⅰ　環境目標について | | 2021～2022年の平均をＢＭとし同等レベルの維持継続の3ヶ年計画とする。<br>来期は、3ヶ年計画の2年目。BMに対し△０%以上を目標値とする。 |
| Ⅱ　環境活動計画について | | 生産量の変化（増減）があってもしっかりと活動できるように計画してください。 |
| Ⅲ　法規制遵守について | | 生産に変化があった場合は注意を怠らずチェックし維持管理してください。 |
| Ⅳ　環境システムについて | | 現状の継続。有効性を認めます。 |
| Ⅴ　その他 | | 環境経営方針の持続可能なものづくりの意識付けができる活動を計画実行すること。<br>次期中期にカーボンニュートラル活動との関連準備をしておくこと。 |
| 資源について | 人 | 生産状況に合わせ人員を検討する。 |
| | 物 | 生産に変化があった場合は検討する。 |
| | 金 | 費用対効果を基準に判断する。 |

# 環境への取組の自己チェック2023年　評価

| 施　　策 | チェック結果の点数 | 満点の場合の点数 | 施策実施度合(%) |
|---|---|---|---|
| **1．事業活動へのインプットに関する項目** | | | |
| 1）省エネルギー | 173 | 208 | 83 |
| 2）省資源 | 52 | 72 | 72 |
| 3）水の効率的利用及び日常的な節水 | 31 | 42 | 74 |
| 4）化学物質使用量の抑制及び管理 | 22 | 24 | 92 |
| 小　　計 | 278 | 346 | 80 |
| **2．事業活動からのアウトプットに関する項目** | | | |
| 1）温室効果ガスの排出抑制、大気汚染等の防止 | 16 | 20 | 80 |
| 2）廃棄物等の排出抑制、リサイクル、適正処理 | 102 | 126 | 81 |
| 4）その他生活環境に係る保全の取組等 | 10 | 10 | 100 |
| 小　　計 | 128 | 156 | 82 |
| **3．製品及びサービスに関する項目** | | | |
| 1）グリーン購入（環境に配慮した物品等の購入、使用等） | 31 | 34 | 91 |
| 2）製品及びサービスにおける環境配慮 | 67 | 90 | 74 |
| 小　　計 | 98 | 124 | 79 |
| **4．その他** | | | |
| 1）生物多様性の保全と持続可能な利用のための取組 | 18 | 24 | 75 |
| 2）環境コミュニケーション及び社会貢献 | 14 | 32 | 44 |
| 3）施主・事業主における建築物の増改築、解体などに当たっての環境配慮 | 18 | 18 | 100 |
| 小　　計 | 32 | 56 | 57 |
| 合　　計 | 536 | 682 | 79 |



# サステン　創業からの１００年

皆様に支持され、創業100年を迎えることができました
これから先の新たな100年を信用、信頼を積み重ねるため

**『人と人の絆を最も大切』にし、**
**『仲間と力を合わせて共にチャレンジ』**
**してまいります**

～　我が社の【心のこもった商品】たちです　～

ベッドフレームとして使用

休憩スペースの机として使用